

インターンシップ関連 / 参考資料 インターンシップガイダンス参加者アンケート集計

2007年5月

株式会社アクティブ アンド カンパニー

TEL: 03-6231-9505

FAX: 03-6231-9506

E-mail: info@aand.co.jp

アンケート概要

- 2007年4月19日に某四年制大学でインターンシップに関するアンケート調査を実施しました。
- 実施したアンケートの概要は以下の通りです。

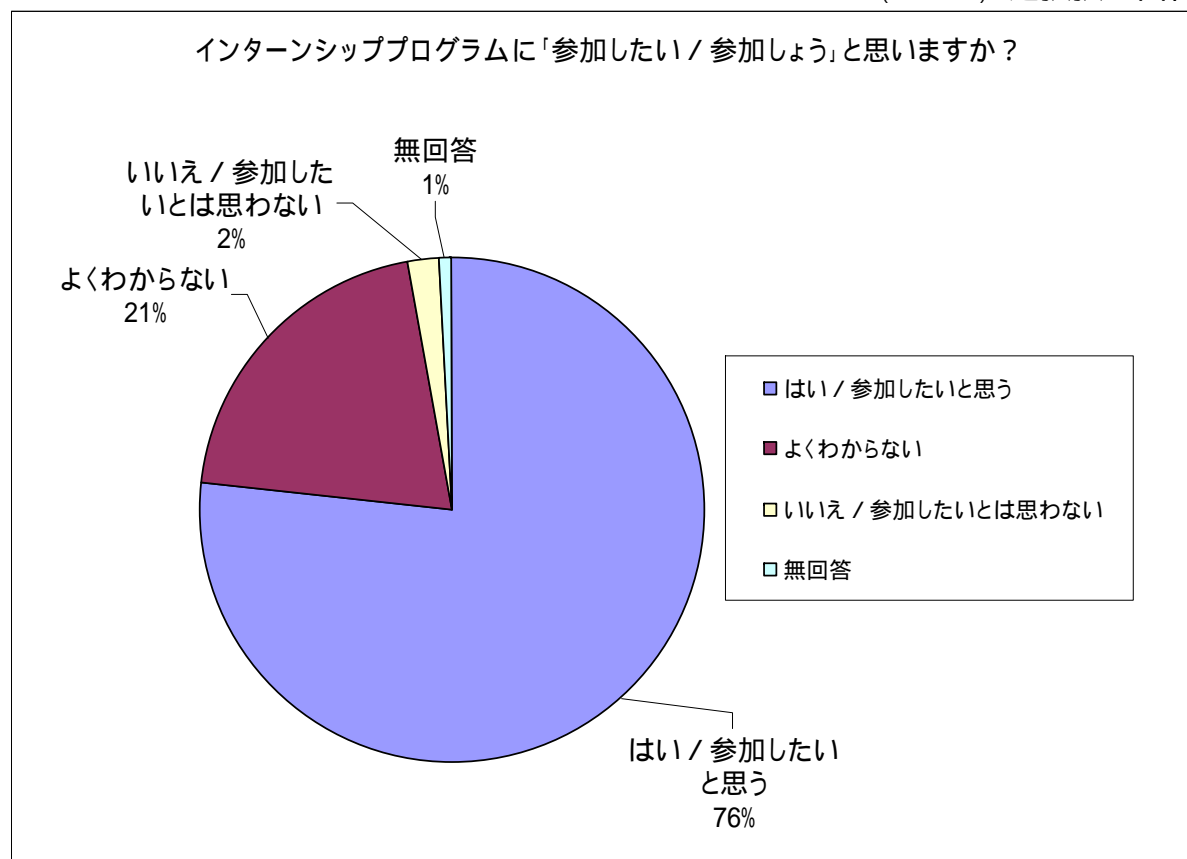
目的	インターンシップに参加する目的及び、就職観に関する意識調査
アンケート実施日	2007年4月19日
対象	四年制大学在学学生:111名(インターンシップ実施前の学生)
アンケート内容	インターンシップに期待する効果及び、就職先を選定するに当たって重視する事柄
レポート内容	<ul style="list-style-type: none">• 2007年4月19日に実施したアンケートの集計• 昨年、2006年10月11日に実施したインターンシップ参加後アンケート集計結果との比較 (弊社HP : http://www.aand.co.jp/news/index.html#20061115 参照)

2007年4月19日 : インターンシップガイダンス参加者アンケート調査

インターンシッププログラムに「参加したい / 参加しよう」と思いますか？

- はい / 参加したいと思う 85名
- よくわからない 23名
- いいえ / 参加したいとは思わない 2名
- 無回答 1名

(n=111) : 選択択一回答

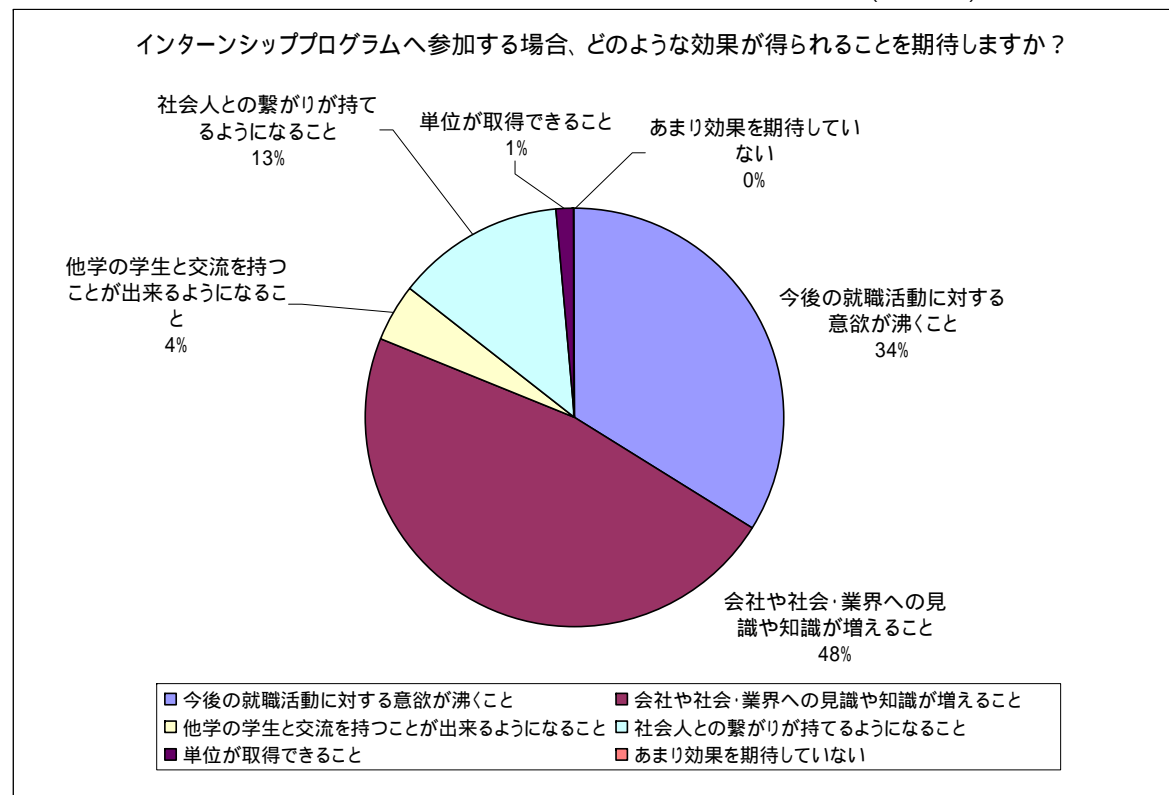


インターンシッププログラムへ参加する場合、どのような効果が得られることを期待しますか？

- 今後の就職活動に対する意欲が沸くこと 77名
- 会社や社会・業界への見識や知識が増えること 107名
- 他学の学生と交流を持つことが出来るようになること 10名
- 社会人との繋がりが持てるようになること 30名
- 単位が取得できること 3名
- あまり効果を期待していない 0名

(n=111) : 選択複数回答

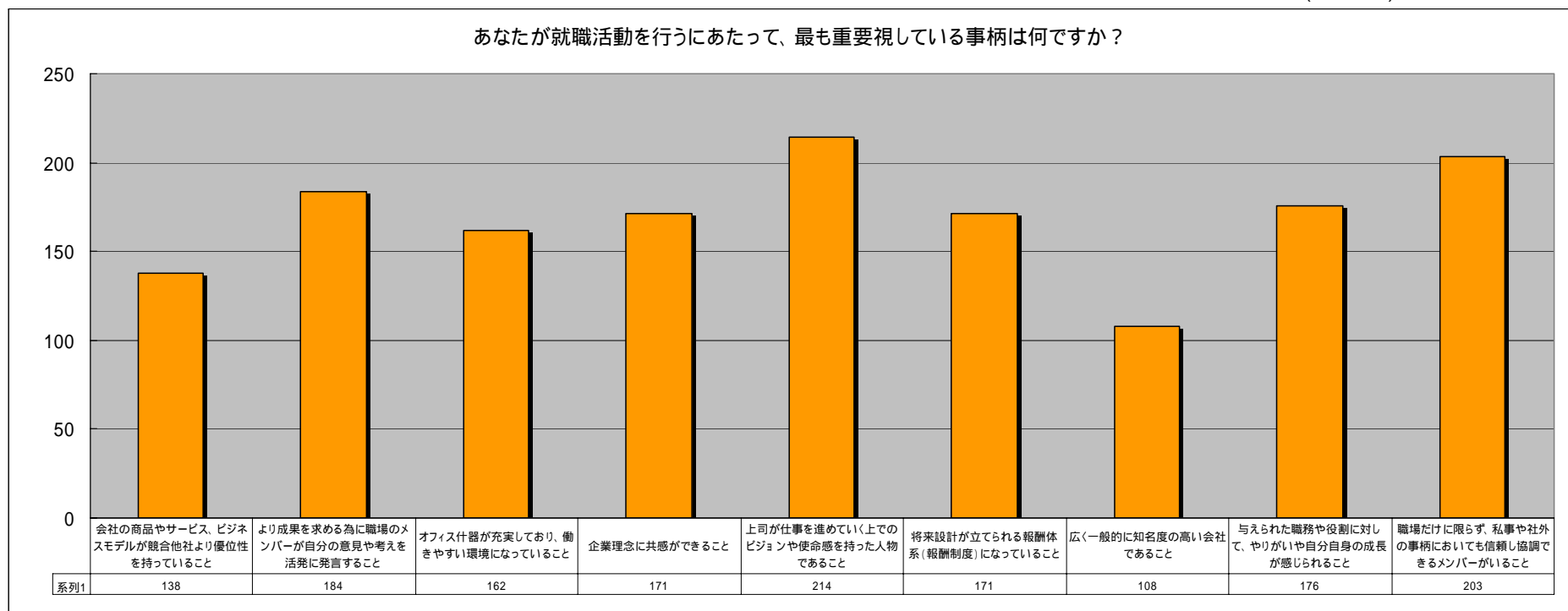
その他回答
仮の就職体験を通じて、不安を多少なり解消したいと感じた。
自分にあっている職種かどうか確かめる。
自分の知らない能力を見いだせそう。選択の幅が広がる。
社会人としての心構えを体感できる。早起きや体調の維持管理面など。
社会人として働く自分の姿をイメージできる。社会人の方と直接話すことができ、「就職」という言葉の意味を深められる。
社会人になる自覚を持つ為の訓練。
社会に対して自分の視野を広げたい。
働くという感覚がなく学生をしているので、今から少しでも良いから、自分の中で働くということを身につけたい。
自らの視野の明確化。



あなたが就職活動を行うにあたって、最も重要視している事柄は何ですか？

- 会社の商品やサービス、ビジネスモデルが競合他社より優位性を持っていること 138名
- より成果を求める為に職場のメンバーが自分の意見や考えを活発に発言すること 184名
- オフィス什器が充実しており、働きやすい環境になっていること 162名
- 企業理念に共感ができること 171名
- 上司が仕事を進めていく上でのビジョンや使命感を持った人物であること 214名
- 将来設計が立てられる報酬体系(報酬制度)になっていること 171名
- 広く一般的に知名度の高い会社であること 108名
- 与えられた職務や役割に対して、やりがいや自分自身の成長が感じられること 176名
- 職場だけに限らず、私事や社外の事柄においても信頼し協調できるメンバーがいること 203名

(n=111): 選択複数回答



2006年10月11日に実施したインターンシップ参加後アンケート集計結果との比較

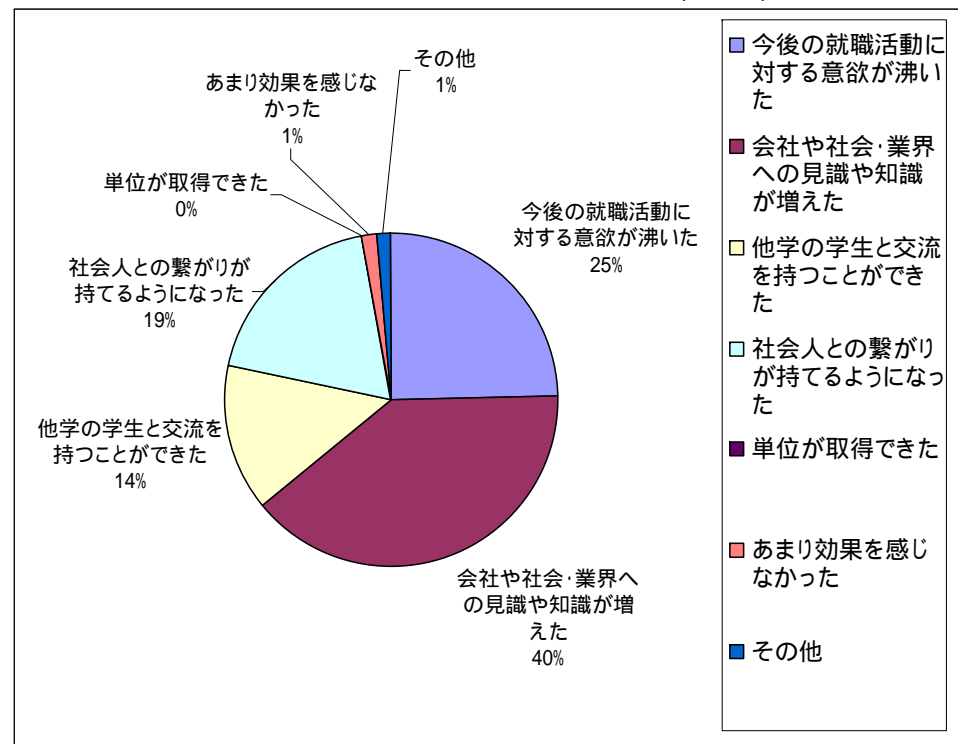
インターンシッププログラムへの参加は、あなたにとってどのような効果があったと思いますか？

前回調査の再掲
(2006年10月11日)

- 今後の就職活動に対する意欲が沸いた 17名
- 会社や社会・業界への見識や知識が増えた 27名
- 他学の学生と交流を持つことができた 10名
- 社会人との繋がりが持てるようになった 13名
- 単位が取得できた 0名
- あまり効果を感じなかった 1名
- その他 1名

(n=29) : 選択複数回答

その他回答
今まで気がつかなかった自分の一面を知ることができた
営業職を身を持って体験できた
会社というものを実際に見ることができたのがよかった
自分自身のことを深く考える機会になった
自分の強み・弱みを知ることができた。周りから見た自分を知ることができた。
社会人と学生との考え方の違いを実感しました。
社会人としてのマナーを知ることができた
社会人の方の話を伺うことで、働くことの具体的な意味が少しわかったと思う
社会に出ることが楽しみになった(早く責任を持って仕事がしたい)
他の企業のインターンシップにも参加したいと思った
働くということへの不安が少し消えた
普段外面しか見ることのない会社の内面を見れた気がする
マナーを学べた。就職活動に向けての意欲UP
もう一度自分のやりたい仕事を考えるきっかけになった



インターンシッププログラムに参加した学生の意識の変化

- インターンシッププログラム参加前後の意識及び、その変化は以下の通り。

設問：インターンシッププログラムに期待すること(参加した効果)はどのようなものですか？

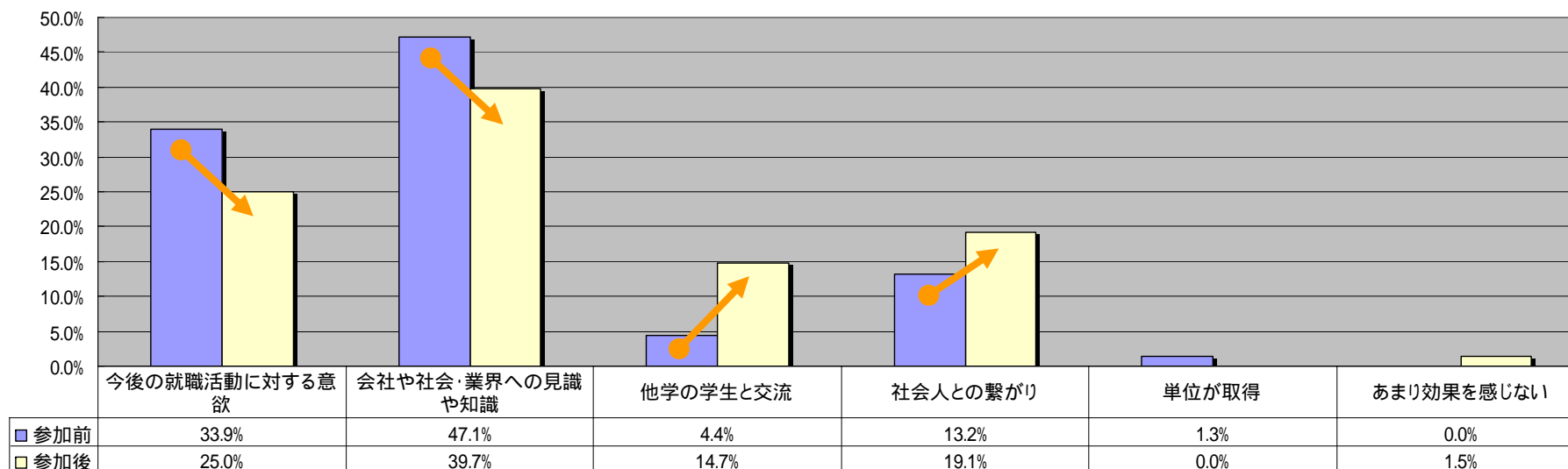
項目	参加前		参加後	
	回答件数	率	回答件数	率
今後の就職活動に対する意欲	77	33.9%	17	25.0%
会社や社会・業界への見識や知識	107	47.1%	27	39.7%
他学の学生と交流	10	4.4%	10	14.7%
社会人との繋がり	30	13.2%	13	19.1%
単位が取得	3	1.3%	0	0.0%
あまり効果を感じない	0	0.0%	1	1.5%

【所見】

インターンシッププログラムに参加する前の学生は、「会社や社会・業界への見識や知識」「就職活動に対する意欲」の向上を、期待する順に挙げているが、実際に参加した学生が考える効果として、上記2つの項目のポイントは減少し、「他学の学生との交流」「社会人との繋がり」に関するポイントが上昇している。

この事から、企業の受入態勢やインターンシッププログラムの内容が学生の期待に沿うものになっていないことが、一部想定される。

インターンシッププログラムに期待すること(参加した効果)はどのようなものですか？



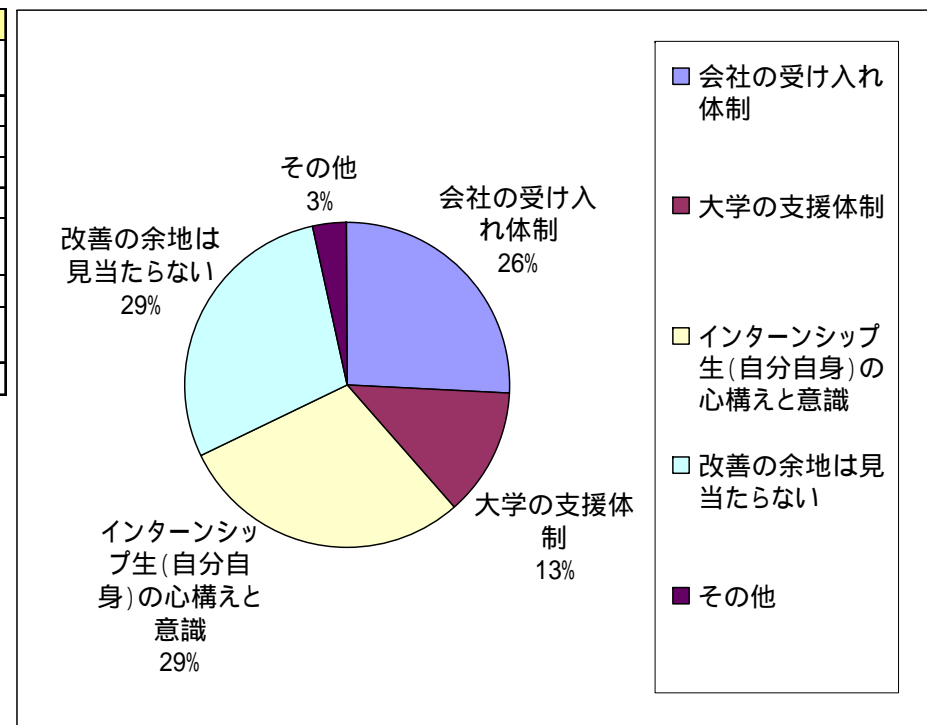
インターンシッププログラムにおいて、今後どのような点を改善する必要がありますか？

前回調査の再掲
(2006年10月11日)

- 会社の受け入れ体制 8名
- 大学の支援体制 4名
- インターンシップ生(自分自身)の心構えと意識 9名
- 改善の余地は見当たらない 9名
- その他 1名

(n=29) : 選択複数回答

その他回答
3日間新人の人に教わったので、その間は何か教わるというより、ただついていって見ていた感じであまり得ものがなかった気がした
インターンシップ先決定の前に、企業名ではなく、受入れ部署名もわかればよいと思う
インターンシップという機会をものにするかしないかは、学生自身の問題だと思う
会社自体がインターンシップにあいまいだった
初日に無連絡で1時間半待たされた。何の仕事をするかわからないと、心構え・準備が何もできない。
成城大学は比較的細かく対応していたと思うが、他大学を見ていてインターンシップの意義が大学ごとに違うことを実感した
体験させてもらっている立場だから給与をもらうのはおかしい。
他大学は単位を与えるべきではない(自主性が大事だから)、大学側のオリエンテーションの充実(無駄が多い)。
満足しています

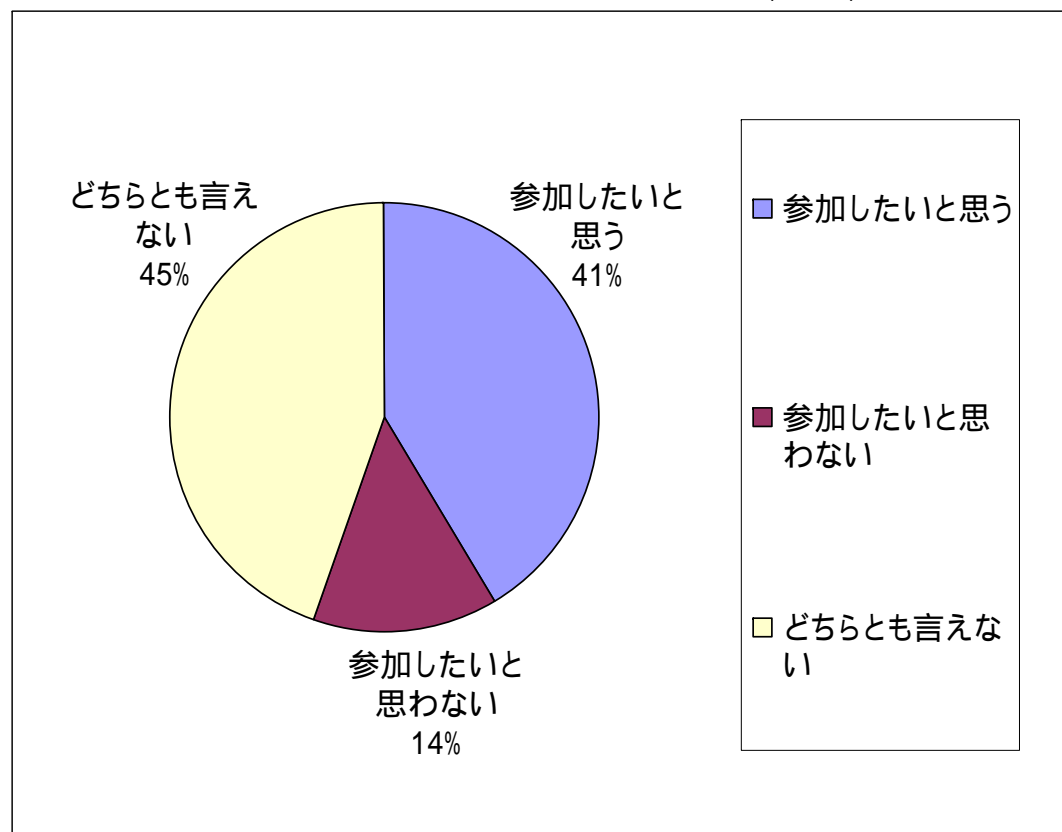


インターンシップで伺った会社の採用選考に、参加したいと思いますか？

- 参加したいと思う 12名
- 参加したいと思わない 4名
- どちらとも言えない 13名

前回調査の再掲
(2006年10月11日)

(n=29): 選択複数回答



アンケート集計結果に関する所見

少子高齢化の波に押され、新卒及び若手人材の採用(及び確保)が困難になる中、インターンシッププログラムの導入を検討する企業が増えてきております。しかし、実施しているインターンシッププログラムの内容が、インターンシップ生の期待に沿ったものになっていないことも一部想定され、場合によってはインターンシッププログラムを導入すること自身が、企業イメージを下げたしまい、負の効果をもたらしているケースも見受けられます。

インターンシップ生をただ受け入れるだけでなく、インターンシップ生を受け入れる企業側の目的とインターンシップ生に期待する内容を明確にし、その目的と期待に応えられるインターンシッププログラムを構築し、実施する事が肝要であると考えられます。

本件に関するお問合せ先

- 本アンケート調査の詳細及びインターンシップに関するお問合せは、下記までお願いします。



株式会社アクティブ アンド カンパニー

電話 : 03-6231-9505

e-mail : info@aand.co.jp

お気軽にお問合せください